

# 第1学年A組 美術科学習指導案

授業者 吉田真梨

- 1 題材名 「わたしのためのスクラップ帳をつくろう！」  
A表現(1)ア(ア), (2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) [共通事項] (1)アイ

## 2 題材について

### (1) 生徒の実態

本学級の生徒は学習意欲の高い生徒が多く、授業規律も身に付いている。

今回の題材は、中学校に入学して初めての題材となる。附属小学校からの連絡入学生徒と学力検査を受けて入学した生徒がいる。小学校の時の図画工作の学習については、活動は楽しかったが、描く活動よりもつくる活動の方が得意であると感じている生徒が多いことが分かっている。図画工作での学びとのつながりと、中学校3年間の学びにつながりを感じられるようにしていきたい。

### (2) 本題材を指導するにあたって

本題材は、様々な感情や、自然物や人工物などに対する自分の印象などを見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、全体と部分などの関係を考え創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練り、アクリルガッシュの基本的な使い方を身に付けるとともに、様々な表現方法を試しながらその効果を生かし、発想や構想したことをもとに自分の表したいことを工夫して表し、生徒同士の作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい感情や印象、表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる題材である。多様な描画材料に触れて表現方法を試しながら、感情や印象をといた目に見えないものを形や色彩、描画材料の表現による特徴を生かして楽しみながら豊かに表現していき、「表現のアイデア」「表現のための参考資料」として、スクラップ帳のようにワークシートにまとめていく。

指導に当たっては、アクリルガッシュはほとんどの生徒が初めて使用する描画材料であるため、アクリルガッシュの基本的な使い方を身に付けることができるようにする。その上で、アクリルガッシュの表現だけではなく、これまで使用した色鉛筆やクレヨンといった描画材料も使用して、多様な描画材料に触れて表現方法を試しながら、感情や印象をといた目に見えないものを形や色彩、描画材料の表現による特徴を生かして楽しみながら豊かに表現していき経験をさせていきたい。中学校3年間における表現活動に主体的に取り組むことができるようになることをねらっていく。

第1時「アクリルガッシュの特徴を理解しよう！」では、アクリルガッシュの特徴を理解し、どのような表現ができるのか体験的に学習する。絵具を溶く水の量を変えたり、使用する筆を変えたりするとどのような表現ができるのか、それを使ってどのように感情や印象を表現できるのかを考え理解することができるようにする。

第2時「描画材料の可能性を探ってみよう！」では、色鉛筆や絵具、顔料マーカーなどの様々な描画材料の特徴を理解し、それらを生かしてどのような表現方法があるのか試しながら探っていく。ワークシートを使って、描画材料の特徴を理解しながら、工夫の仕方や感情などの表し方を考えて表現していく。試す中で生まれた表現方法やその表現から感じ取ったことや考えたことを、ワークシートに記述しておく。

第3時「かんたんな形や色で、感情を表してみよう！」では、テーマから自分が表したい感情や印象を基に、様々な描画材料を使って画用紙に表現していく。示されるテーマを基に、自分の思いや経験を形や色彩、描画材料の特徴を生かして平面に表現していく。生徒自身がテーマを表

すのが難しいと思うものから3段階に分け、表現すること自体に挑戦していくようにする。八つ切りを12等分にした大きさの画用紙を自由に使って平面に表す。

第4・5時「表現方法をさらに工夫して、より豊かに感情を表してみよう！」では、さらに様々に試していく中で、描画材料の組合せについても考えさせたい。

第6時「スクラップ帳にまとめて、見つめてみよう！」では、第2～5時の中で自分が制作したものをワークシートに整理していく。自分が表したものをじっくりと見つめ、その特徴や表したテーマを基に並び替えたり分類したりして、ワークシートに貼り付ける。画用紙の裏面に記述した内容をさらに整理したり追加したりしてまとめていく。

第7時「友達の表現を味わい、自分の世界を広げよう！」（本時）では、それぞれがまとめたスクラップ帳を鑑賞する。ワークシートには、他者が記述できる欄を設定し、鑑賞者がコメントを記入できるようにしておき、他者が感じたことや考えたことなどの感想を作者に伝えられるようにする。学級の友人の作品を鑑賞して感想を伝えたり、時に作者に質問したりするなどの活動を通して、表現の幅をさらに広げたり自分の表現に自信をもったりすることができるようにする。

### (3) 学校研究とのかかわり

美術科における挑戦心を、「自らの理想（思い描いたこと）を表現するために試行錯誤する生徒の姿」と捉えている。この題材では、自らが「表したい思い」を表現するための表現方法を、様々な描画材料を試しながら探っていく。「まずやってみる」という姿勢を身に付けさせたい。

### (4) 学習指導要領上での位置付け

A表現－(1)ア感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵画や彫刻などに表現する活動

(ア)対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

(2)ア発想や構想したことなどを基に、表現する活動

(ア)材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。

B鑑賞－(1)ア美術作品などの見方や感じ方を深める活動

(ア)造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

[共通事項]

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

## 3 題材の目標

### (1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

・形や色彩、絵具や色鉛筆などの用具の特性や、それらが感情にもたらす効果を理解するとともに、形や色、絵具や色鉛筆で描いた表現などを基に、全体のイメージを捉えることを理解する。

(〔共通事項])

・絵具や色鉛筆などの用具の生かし方を身に付け、自分の表したい感情や印象に応じて工夫して表す。(「A表現」(2))

### (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

・様々な感情や、自然物や人工物などに対する自分の印象などを見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、全体と部分などの関係を考え創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。(「A表現」(1))

・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。(「B鑑賞」(1))

### (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

・美術の創造活動の喜びを味わい、感情や印象などを基に楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

#### 4 題材の評価規準

学習活動に即した評価規準

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<p><b>知</b> 形や色彩，絵具や色鉛筆などの用具の特性や，それらが感情にもたらす効果や，形や色，絵具や色鉛筆で描いた表現などを基に，全体のイメージを捉えることを理解している。</p> <p><b>技</b> 絵具や色鉛筆などの用具の生かし方を身に付け，自分の表したい感情や印象に応じて工夫して表している。</p>	<p><b>発</b> 様々な感情や，自然物や人工物などに対する自分の印象などを見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し，全体と部分などの関係を考え創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p><b>鑑</b> 造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。</p>	<p><b>態表</b> 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく様々な感情や，自然物や人工物などに対する自分の印象などを基に構想を練ったり，意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p><b>態鑑</b> 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

#### 5 指導と評価の計画（7時間）

●学習のねらい・学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点等
<p><b>1. 表現（1時間）</b></p> <p>●アクリルガッシュの表し方を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリルガッシュの生かし方を考えながら，様々な表し方を試す。</li> <li>・感じ取ったことや考えたことをワークシートに記述する。</li> </ul>	<p><b>技</b></p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p><b>技</b></p>		<p><b>態表</b></p> <p>↓</p> <p><b>態表</b></p>	<p><b>技</b> アクリルガッシュの生かし方を身に付けられているかどうかを見取り，できていない生徒にはその特徴を確認させ，考えさせるような指導を行う。【試作の作品】</p> <p><b>態表</b> アクリルガッシュの特徴を生かして表現方法を試してみることが大切であることを伝え，楽しく活動に取り組むことができるように助言する【活動の様子】</p> <p><b>技</b> アクリルガッシュの特徴を理解し生かし方を身に付けられているかどうかを見取り，次時以降の表現活動に向けて考えをまとめているかどうかを評価する。 【ワークシート，活動の様子】</p>
<p><b>2. 発想や構想（4時間）</b></p> <p>●描画材料の可能性を探ってみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩などが感情にもたらす効果などを考えながら，自分が選んだ描画材料で，自己の構想に基づき，筆致を変えたり，濃度などを変えたりするなど，様々な描画材料の表し方を試す。</li> </ul>	<p><b>知</b></p> <p>↓</p>	<p><b>技</b></p> <p>↓</p>	<p><b>態表</b></p> <p>↓</p>	<p><b>知</b> 形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを見取り，できていない生徒に対して具体例を示すなどの指導を行う。 【ワークシート，発言の内容】</p> <p><b>技</b> アクリルガッシュなどの生かし方を身に付けられているかどうかや，様々な表し方を試して多様な表し方を身に付けているかどうかを見取り，できていない生徒には他の生徒の試作を紹介するなどして工夫について考えさせるような指導を行う。【試作の作品】</p> <p><b>態表</b> 描画材料の特徴を生かして表現方法を試したり，表現したものからどのようなイメージを感じ取ることができるか考えをまとめたりすることができていない生徒には，まずは試してみることが大切であることを伝え， 【活動の様子，試作の作品】</p>

- かんたんな形や色で、感情を表してみよう！
- ・示された「感情」のテーマから発想し、様々な描画材料を用いて自分の思いを簡単な形や色彩で表す。
- ・自分の意図に応じて描画材料の持ち方や動かしかし方、強弱の付け方などの使い方を工夫して表す。
- ・クラスで意見を出し合い、テーマを表すことが難しいと思う順に3段階に分け、取り組んでみたいものから挑戦していく。

- 表現方法をさらに工夫して、より豊かに感情を表してみよう！
- ・示された「感情」のテーマから発想し、様々な描画材料を用いたり、組み合わせたりしながら、自分の思いを簡単な形や色彩で表す。

発



**技** 描画材料の特徴を生かして表現方法を試したり、表現したものからどのようなイメージを感じ取ることができるか考えをまとめたりすることができていない生徒には、まずは試してみることが大切であることを伝え、表現の工夫などについての興味や関心を高めるような指導を行う。【活動の様子、試作の作品】

**態表** 描画材料の特徴を生かして表現方法を試したり、表現したものからどのようなイメージを感じ取ることができるか考えをまとめたりすることができていない生徒には、まずは試してみることが大切であることを伝え、他の生徒の取組みを紹介するなど、表現の工夫などについての興味や関心を高めるような指導を行う。  
【活動の様子、試作の作品】

**発** 様々な感情や、自然物や人工物などに対する自分の印象などを見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、全体と部分などの関係を考え創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っているかを見取り、できていない生徒には描画材料の特徴を確認させたり、活動を振り返らせたりするなどより豊かな表現の構想を練るように指導する。【活動の様子、試作の作品】

**態表** 描画材料の特徴を生かして表現方法を試したり、表現したものからどのようなイメージを感じ取ることができるか考えをまとめたりすることができていない生徒には、まずは試してみることが大切であることを伝え、他の生徒の取組みを紹介するなど、表現の工夫などについての興味や関心を高めるような指導を行う。  
【活動の様子、試作の作品】

**知・技** 作品から絵具や色鉛筆、顔料マーカーなどの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表しているかなどを見取るとともに、形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを併せて見取り、**知**と**技**を**知・技**として一体的に評価する。

【作品、アイデアスケッチ、ワークシート等】

**発** 主題の広がりや描画材料の工夫や組合せの構想を含めて、発想や構想を再度見取り評価する。【作品】

**態表** 楽しく制作に取り組み、形や色彩の効果、描画材料の特徴や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、意図に応じて工夫して表そうとしている態度を評価する。  
【ワークシート、活動の様子】

技

発

態表

<p>3. 鑑賞（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スクラップ帳にまとめて、見つめてみよう！</li> <li>・自分が表現してきた画用紙をワークシートに貼り付けてまとめる。ただ貼り付けるのではなく、自分で決めて分類しながら整理する。</li> <li>・表現の意図と描画材料の工夫なども記述する。</li> </ul>	<p>知 ↓</p>	<p>鑑 ↓</p>	<p>態鑑 ↓</p>	<p><b>知</b> 形や色、絵具や色鉛筆で描いた表現などを基に、全体のイメージを捉えることを理解することができていない生徒を見取り、対話を通して感じたことや考えたことを自覚させまとめる支援をする。【ワークシート、活動の様子】</p> <p><b>態鑑</b> 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の表現の意図と工夫などについて考えることなどができているかどうかなどと、取り組む態度を見取り、できていない生徒に対して、自分の表現を振り返らせ、対話を通して表現方法のよさなどに気付かせたりするなどの指導を行う。【ワークシート、発言の内容、活動の様子】</p>
<p>4. 鑑賞（1時間）本時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●友達の表現を味わい、自分の表現を広げよう！</li> <li>・クラスの友達の作品を鑑賞し、描画材料の工夫やそれによって生まれた形、色彩やその組合せの美しさに注目し、感情を表す豊かな表現を味わう。</li> <li>・付箋に気付いたことや感想を記入し、相手のワークシートに貼る。</li> <li>・よいと思ったクラスの友達の作品をタブレット端末で撮影し、デジタルノートに記録をとる。</li> <li>・全体に紹介する。</li> </ul>			<p>態鑑 ↓</p>	<p><b>知</b> 形や色、絵具や色鉛筆で描いた表現などを基に、全体のイメージを捉えることを理解することができていない生徒を見取り、対話を通して感じたことや考えたことを自覚させまとめる支援をする。【ワークシート、活動の様子】</p> <p><b>鑑 態鑑</b> 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えることなどができているかどうかなどと、取り組む態度を見取り、できていない生徒に対して、自分の表現と比べさせその違いを考えさせたり、対話を通して表現方法の面白さやよさなどに気付かせたりするなどの指導を行う。【ワークシート、発言の内容、活動の様子】</p> <p><b>態鑑</b> 楽しく作品を鑑賞し、形や色彩の効果、描画材料の特徴などや全体のイメージで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えようとしたりしているかどうかを評価する。【活動の様子】</p>
<p>&lt;授業外：題材が終了後&gt;</p>	<p>知・技</p>	<p>鑑</p>	<p>発</p>	<p><b>知・技</b> 完成作品や表現及び鑑賞のワークシート、制作レポートなどから<b>知・技</b>の評価を再確認し、必要に応じて修正する。【完成作品、ワークシート、制作レポート】</p> <p><b>鑑</b> 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方が広げられているかをワークシートで見取り評価する。【ワークシート】</p> <p><b>発</b> 発想や構想について、主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と合わせて再度見取り必要に応じて修正する。【完成作品、ワークシート】</p>

## 6 本時の計画（7／7時間）

### (1) 目標

生徒同士の作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい感情や印象、表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。

### (2) 準備

○教師：ワークシート・タブレット端末・電子黒板・プロジェクタ

○生徒：筆記用具・教科書・ファイル・タブレット型端末

### (3) 展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点 (〔共〕：〔共通事項〕に係る内容)	評価と手立て 観点：評価規準【評価方法等】
導入 5分	<p>★友達の表現を味わい、自分の表現を広げよう！</p> <p>●本時のねらいと内容を知る。</p>	<p>・授業の開始前に手指消毒・洗浄を呼びかけ、前時までの振り返りを確認するように促す。</p> <p>・ワークシートを配付し、本時の活動について説明する。</p>	<p>知 形や色彩、絵具や色鉛筆などの用具の特性や、それらが感情にもたらす効果や、形や色、絵具や色鉛筆で描いた表現などを基に、全体のイメージを捉えることを理解している。</p> <p>【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p>
展開 35分	<p>●スクラップ帳をみて、おもしろい表現を探してみよう！（20分）</p> <p>・クラスの友達のスクラップ帳を鑑賞し、おもしろい作品を見つける。</p> <p>・コメント用の付箋に感想を記入し、作者のワークシートに貼り付ける。</p> <p>●スクラップ帳を紹介しよう！（15分）</p> <p>・鑑賞した中で、みんなに紹介したいと思った作品をクラスのみんなに紹介する。</p>	<p>・コメント用の付箋を配付する。</p> <p>・全員のスクラップ帳を見て回り、表現方法が工夫されているものや自分がおもしろい、よいと感じるものを見つけて感想を書かせる。</p> <p>・特に自分がよいと感じたものはタブレット端末で撮影させ、デジタルノートに添付して記録させる。</p> <p>・机間指導をしながら、〔共〕<u>形や色彩、描画材料の特徴を生かした表現に注目し、「すごいな」「おもしろいな」など心が動いたものを記録するように促す。</u></p> <p>・発表の際は、どんなところがよいと思ったのかをしっかりと発表させる。</p> <p>・発表する生徒のデジタルノートを教師が共有して電子黒板に投影し、全体が記録した写真を見ながら発表を聞くことができるようにする。</p>	<p>◎形や色彩がもたらす効果や描画材料を生かした表現方法から感情や物の印象などを豊かに捉えている。</p> <p>◆形や色彩に注目するように助言する。</p> <p>鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> <p>【発言の内容、ワークシート】</p> <p>◎描画材料の表現の特徴から</p> <p>◆形や色彩に注目してよさをとらえるように助言する。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【ワークシート、活動の様子】</p> <p>◎スクラップ帳に興味をもって見つめ、イメージを捉えたり、グループ内で意見交換を積極的に行ったりしながら鑑賞活動をしている。</p> <p>◆自分の表現と比べさせその違いを考えさせたり、対話を通して表現方法の面白さやよさなどに気付かせたりするなどの指導を行う。</p>
まとめ 10分	<p>●教師の話聞く。</p> <p>●本時の活動を振り返り、今日の学習で一番大事だと思ったことを記入する。</p>	<p>・今日の学習活動についてまとめ、生徒がねらいにせまれるようにする。</p> <p>・本時の活動についてじっくり振り返り、ワークシートに考えをまとめることができるようにする。</p> <p>・手指洗浄を呼びかける。</p>	<p>◎スクラップ帳に興味をもって見つめ、イメージを捉えたり、グループ内で意見交換を積極的に行ったりしながら鑑賞活動をしている。</p> <p>◆自分の表現と比べさせその違いを考えさせたり、対話を通して表現方法の面白さやよさなどに気付かせたりするなどの指導を行う。</p>

◎：十分満足できる状況 ◆：C判断生徒への手立て  
(備考 在籍生徒数 男子18名 女子18名 計36名)